

チャレンジタイム（帯タイム）学習指導案

小松市立串小学校 谷口 一登

■ チャレンジタイム（帯タイム）とは

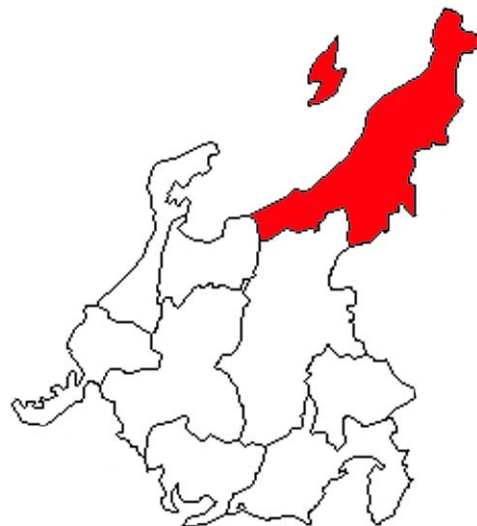
本校では1限目に入る前の8:30～8:45までを「チャレンジタイム」と称し、毎日「かず広場」「言葉広場」「コミュニケーションタイム」と交互に行っています。これは1限目の学習にスムーズに入るための準備学習です。

「かず広場」では100マス計算や既習の計算の復習など、「言葉広場」では音読や視写など、「コミュニケーションタイム」では詩の暗唱や対話・スピーチなどを継続して行っています。

■ デジタルコンテンツからの「子どもたちの学び」

県名の学習は4年時に行っていますが、なかなか定着しないのが現状です。そこでチャレンジタイムの時間を使い、繰り返し暗唱することで自然と県の位置関係や県庁所在地なども覚えることが出来ます。また、大きな声で活舌よく唱えるため脳にも刺激があり、高まった状態で1限目を迎えることが出来ます。

このコンテンツは、赤く塗った県名を順次アニメーション形式で表示していくもので、ただ県名を覚えるだけでなく、地図上のどこの位置にあるのか…ということも覚えることが出来ます。



■ 教材作成のポイントと使い方の例

ただ白地図を与えて「覚えなさい」では、なかなか子ども達は覚えてくれません。そこで、視覚に訴えることで子ども達の意識を高めます。

全国を「北海道・東北地方」「関東地方」「中部地方」「近畿地方」「中国・四国地方」「九州地方」に分けてコンテンツを作成してあります。それぞれ各県を赤で塗り潰した静止画と、それを並べてGifアニメーションにした動画を用意してあります。静止画で繰り返し学習し県名を唱えられるようになったら、2秒間隔で表示される動画コンテンツを利用してもいいでしょう。また、県名が唱えられるようになったら、県庁所在地名を繰り返し学習させるのも可。



中部地方のコンテンツの例。

赤く表示される各県を繰り返し唱えていくと、自然と学習出来る。

